

<活動の様子>



事業名 「まつやま子どもの日（8月8日）」協賛の《一草庵・夏の子どもまつり》

<目的>

松山市が2004年度に制定した「まつやま子ども週間」に協賛し、山頭火の魅力を大人だけでなく、子どもたちにも俳句づくりにて挑戦してもらったり、日常では味わえない食文化“ソーメン流し”をして大人と子どもの交流の場をつくり、松山の未来を背負ってくれる子どもの育成に役立つことを目的としました。

<事業内容>

「学んで、遊んで、楽しもう！一草庵・夏の子どもまつり」の開催

日時：平成26年8月19日（火）

場所：一草広場（松山市御幸1丁目435番地）

①～学びの時間～

☆「一草庵夏の子どもまつり俳句賞」「家族俳句絆賞」の発表・表彰。
 （事前に学校へ設置の「出前山頭火俳句ポスト」の中より、優秀句を選定し表彰しました。）
 ☆「山頭火紙芝居」を初公開、子どもたちに好評。

②～遊びの時間と楽しみの時間～

ソーメン流し、カキ氷、スイカ割りをゲーム感覚で作って楽しんでいただきました。

<市民の参画や他団体との連携>

- ①清水地区の住民で構成されている「一草管理協力会」のメンバーとの共催で実施しました。
 （青竹によるソーメン流し装置づくりは、竹の切り出しから組み立てまで作成。）
- ②清水・湯築・姫山小学校の校長先生を始め各先生の協力を得て、「一草庵・夏の子ども俳句大会」を成功させることができました。今回初企画した「家族俳句絆賞」お父さん、お母さん、おばあさんも喜んでいただきました。
- ③清水公民館では、ソーメンづくりに必要な場所や調理道具及び会場に必要なテントやマイク設備、イス等の貸出に協力いただきました。

<市民に対するPR> 学んで！遊んで！楽しもう！をスローガンに、

☆子どもたちと俳句のお勉強、「山頭火紙芝居」を通じて、「創作と協調の場」を構築できました。
 ☆遊び場の少ない世の中、一草庵広場で「学んで、遊んで、楽しもう」を直接体験してもらい、コミュニケーション能力を養うことができました。
 ☆地域住民との共同作業で、普段味わうことのできない食生活を体験してもらうことができました。